

平成28年度
中学生×医師交流プログラム

事業報告書

弘前市教育委員会学校づくり推進課

事業の目的

「自律的に学ぶ心」「なりたい自分に近づくチャレンジ精神」を育み、未来をつくる弘前っ子の育成を図るとともに、医療職に対する理解を深めてもらうことを目的として、医師や医学生との交流及び実習体験等を行うものである。

プログラムの内容

日 時	場 所	内 容
第1回 7月31日（日） 午前10時～ 正午	弘前市総合学習センター	①オリエンテーション ・自己紹介 ・グループ分け ・医師、医学生への質問検討 ②アンケート調査
第2回 8月8日（月） 午前9時30分 ～午後1時	弘前大学 医学部基礎校舎	①「医師」との交流 ・医師への質問 ②ヘリポート見学 ③弘前大学オープンキャンパス参加 ・実習体験
第3回 8月20日（土） 午前9時30分 ～正午	弘前大学 医学部基礎校舎	①「医学生」との交流 ・医学生への質問 ②アンケート調査（中学生対象）

主催

弘前市教育委員会

共催

弘前大学大学院医学研究科

事業の周知

中学生×医師交流プログラム 参加者募集！ 2016

日 時	場 所	内 容
7月31日(日) 午前10時 ～正午	弘前市 総合学習センター	・オリエンテーション 自己紹介 グループ編成など
8月8日(月) 午前9時30分 ～午後1時	弘前大学 本町キャンパス	・オープンキャンパス参加 医師との交流 実習体験など
8月20日(土) 午前9時30分 ～正午	弘前大学 本町キャンパス	・医学生との交流 <small>※これらの内容は変更になることがありますので予めご了承ください。</small>



対 象 市内及び西目屋村在住で市立中学校に在籍する生徒並びに、市内在住で市内中学校に在籍する生徒 20名
(※原則、3箇会場するプログラムに参加できること。)

主 催 弘前市教育委員会 (共催: 弘前大学大学院医学研究科)

応募方法 参加希望者は申込用紙を7月7日(木)までに学校へ提出してください。
※応募者多数の場合は抽選となることがあります。
なお、抽選の結果、応募者となった生徒には通知文を郵送いたします。

参 加 料 無料

お問い合わせ先
弘前市教育委員会
学校づくり推進課 担当: 干葉
電話: 0172-82-1646

平成28年度

中学生×医師交流プログラム 参加申込書

学校名	中学校	年生
生徒氏名	男子 / 女子
保護者氏名	電話番号
住所	〒	— — (自宅・携帯)

市立中学校16校、弘前大学教育学部附属中学校、弘前学院聖愛中学校の合計18校の全学年の生徒を対象に参加募集チラシを合計5,000枚配布

参加申込と決定

申込数 ⇒ 37名

決定者数 ⇒ 20名 (※抽選により決定)

※参加実績

7月31日【19名】、8月8日【19名】、8月20日【20名】

学校別申込状況

学校名		申込数	申込数全体に 対する割合	決定者数
1	裾野	1	2.7%	1
2	新和	0		0
3	北辰	0		0
4	船沢	0		0
5	東目屋	0		0
6	第一	5	13.5%	2
7	東	4	10.8%	2
8	第二	2	5.4%	1
9	第三	5	13.5%	4
10	南	2	5.4%	1
11	第四	0		0
12	第五	0		0
13	石川	0		0
14	津軽	0		0
15	常盤野	0		0
16	相馬	0		0
17	附属	18	48.6%	9
18	聖愛	0		0
合 計 (名)		37		20
合 計 (校)		7		

プログラムの詳細<1日目>

- 日 時 平成28年7月31日（日）10時～12時
- 場 所 弘前市総合学習センター（末広4丁目）
- 内 容
 - ①オリエンテーション
 - ・自己紹介
 - ・グループ分け
 - ・医師、医学生への質問検討
 - ②アンケート調査



- 生徒を4つのグループに分け、医師・医学生への質問を検討してもらった。
- それぞれのグループに3年生を配置し、リーダーシップを取ってもらった。

プログラムの詳細 <2日目>

- 日 時 平成28年8月8日（月）9時30分～13時
■ 場 所 弘前大学医学部基礎校舎ほか（本町キャンパス）
■ 内 容
- ①若林医学部長あいさつ
 - ②「医師」との交流
(協力医師：藤田雄医師、小渡亮介医師)
 - ③ヘリポート見学
 - ④弘前大学オープンキャンパス参加
 - ・保健学科及び医学科における実習体験



プログラムの詳細 <2日目>



- ちょうどオープンキャンパスと重なったこの日、高校生に交じって会場入りした中学生はとても不安そうであった。
- 医師との交流では、先生方の回答を熱心に聞き、メモを取っていた。
- ヘリポートの見学に続き、保健学科、医学科の実習体験に臨んだ生徒たちは、とてもいきいきとし、目が輝いていたのが印象的であった。

プログラムの詳細 <3日目>

■ 日 時 平成28年8月20日（土）9時30分～12時

■ 場 所 弘前大学医学部基礎校舎ほか（本町キャンパス）

■ 内 容 ①「医学生」との交流

協力学生：3年 清野 翔太、堀内 みちる
2年 床次 玲未、三上 慶太

②アンケート調査（中学生対象）

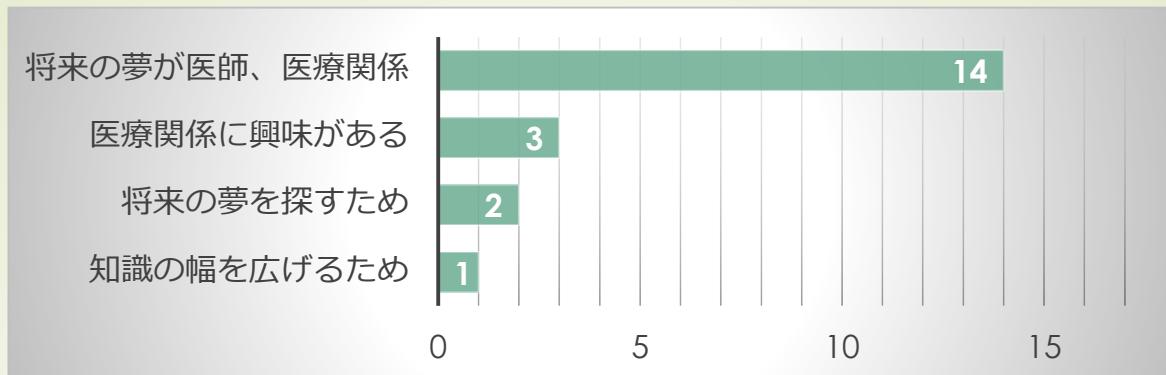


- 医学生のリードにより、生徒たちが聞きたいことをうまく引き出してもらっているようであった。
- 生徒たちにとって、地元の先輩から多くのことを聞けたことは大きな財産、そして励みになったようだ。

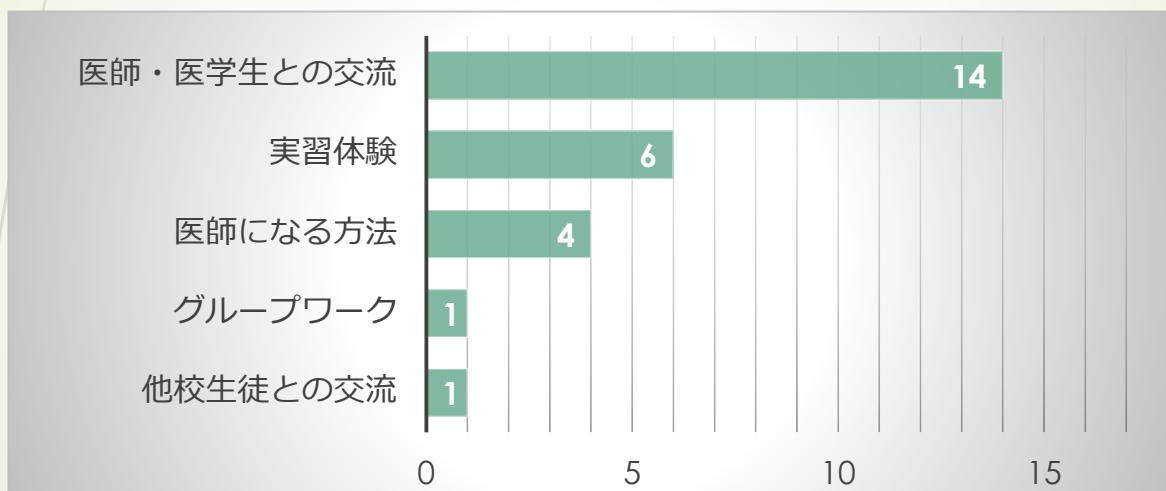
参加生徒へのアンケート調査

～事前アンケート～

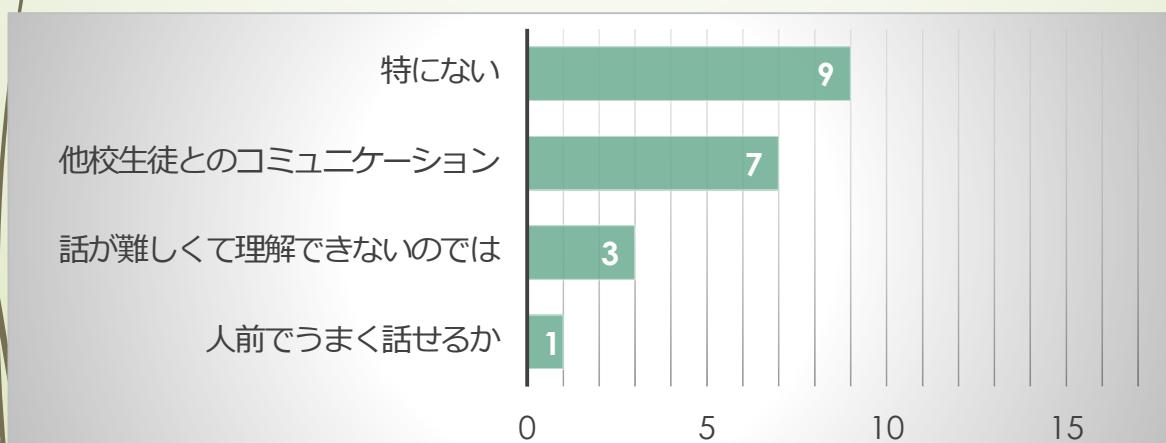
【質問①】 今回のプログラムに申込みをした理由を教えてください。



【質問②】 今回のプログラムで学びたいと思っていること、または楽しみにしていることは何ですか。

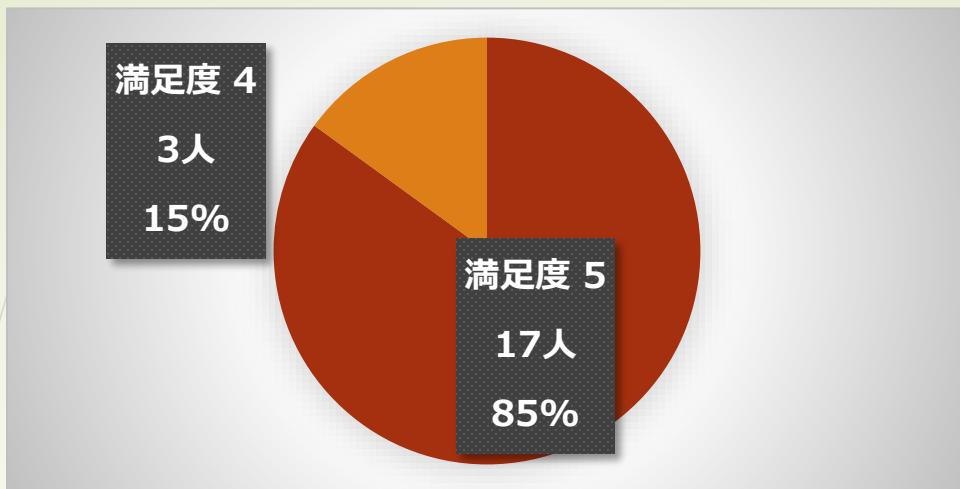


【質問③】 今回のプログラムで不安に感じることはありますか。



～実施後アンケート～

【質問①】事前アンケートにおいて、学びたいと思っていたことや楽しみにしていたことに関する満足度はどのくらいですか。

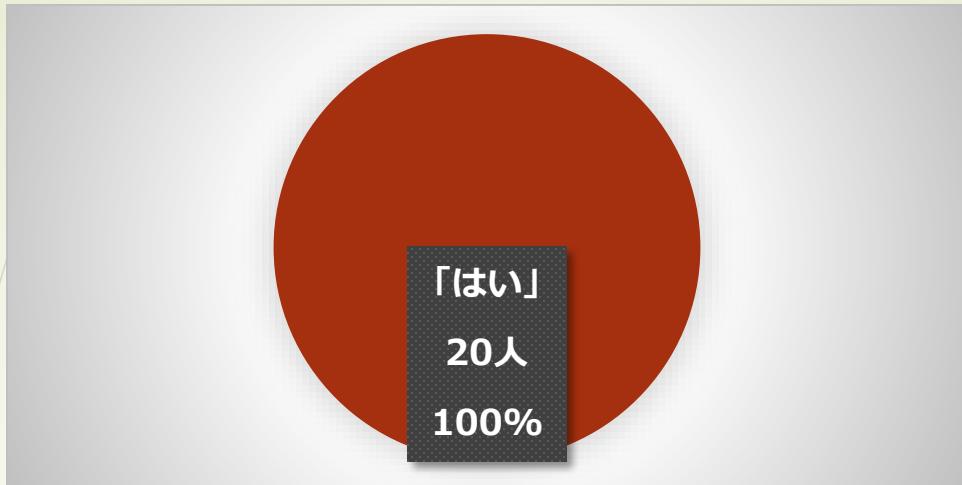


＜満足度の理由は？＞

- 予想より楽しく、今からやるべきことがわかったから。
- 医学部ではどういうことを行っているか、ある程度わかったから。
- 参加前より医師や医学生に対する理解が深まったから。
- 医師のやりがいなどたくさん勉強になったから。
- 医学部で何をするのか、質問や体験を通して知ることができたから。
- 聞きたいことを聞けて、充実した3日間だったから。
- 実習体験以外にもたくさんためになることを知ることができたから。
- 自分が望んでいたことを体験できて楽しかったから。
- 様々な体験を通して、今まで知らなかったことを知ることができたから。
- 医師との交流などで楽しく学ぶことができたから。
- 実際に医師や医学生から話を聞き、より深く知ることができたから。
- オープンキャンパスやヘリポート見学など普段体験できないことができて、充実して楽しかったから。
- 医師や医学生からとても意義のある話を聞けたから。
- 高校生でないと参加できないオープンキャンパスに一足早く参加できたから。

～実施後アンケート～

【質問②】今回のプログラムには市内の複数の中学校から参加がありましたか、他校の生徒とコミュニケーションを図ることができましたか。

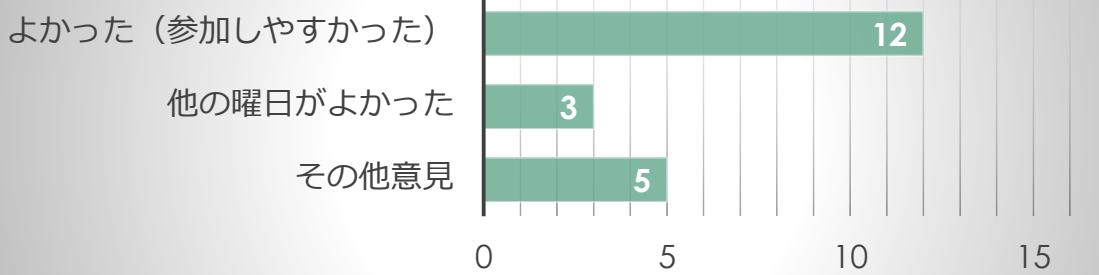


＜主催者である市教育委員会は、どのような準備や進め方をすれば、コミュニケーションを図ることができたと考えますか？＞

- グループでの活動がもう少しあれば良い。
- 男子の人数が少なかったので、バランスを取れば良い。
- 自己紹介の時に場を盛り上げる工夫をすれば良い。
- もう一日設けて、もっとみんなで話をする機会があれば良い。
- グループだけで考える時間をもっと多くとると良い。
- 話しやすい雰囲気を作れば良い。
- いきなり他校の生徒と役割分担や質問を決めたので、うまく話し合うことができなかつた。
- フリートークなどお互いをもっと知るリラックスした時間を設ければ良い。
- グループ以外の人とも話ができると良かった。
- みんなで何かをやった方がコミュニケーションが取れて良い。
- 自己紹介に部活動や好きな事を言うように項目を設定すれば良い。
- 班ごとに自己紹介すれば良い。

～実施後アンケート～

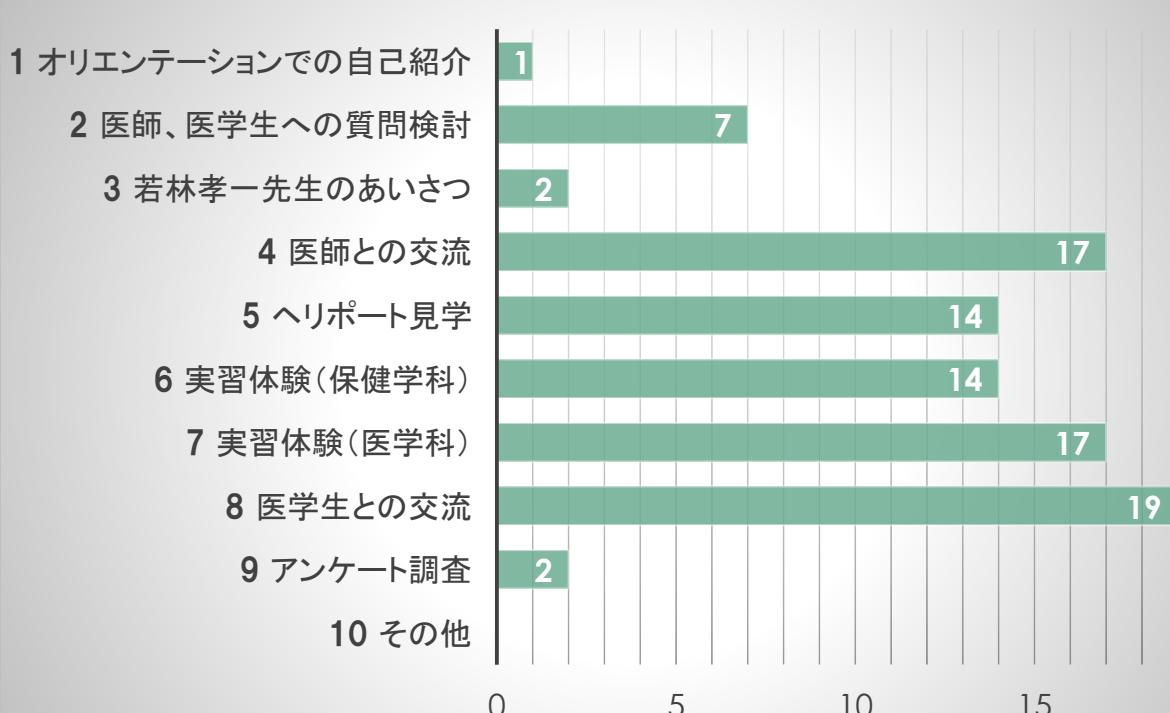
【質問③】今回のプログラムは夏休み期間中を利用して開催しましたが、開催時期や曜日はいかがでしたか。



＜開催時期等に関する自由意見＞

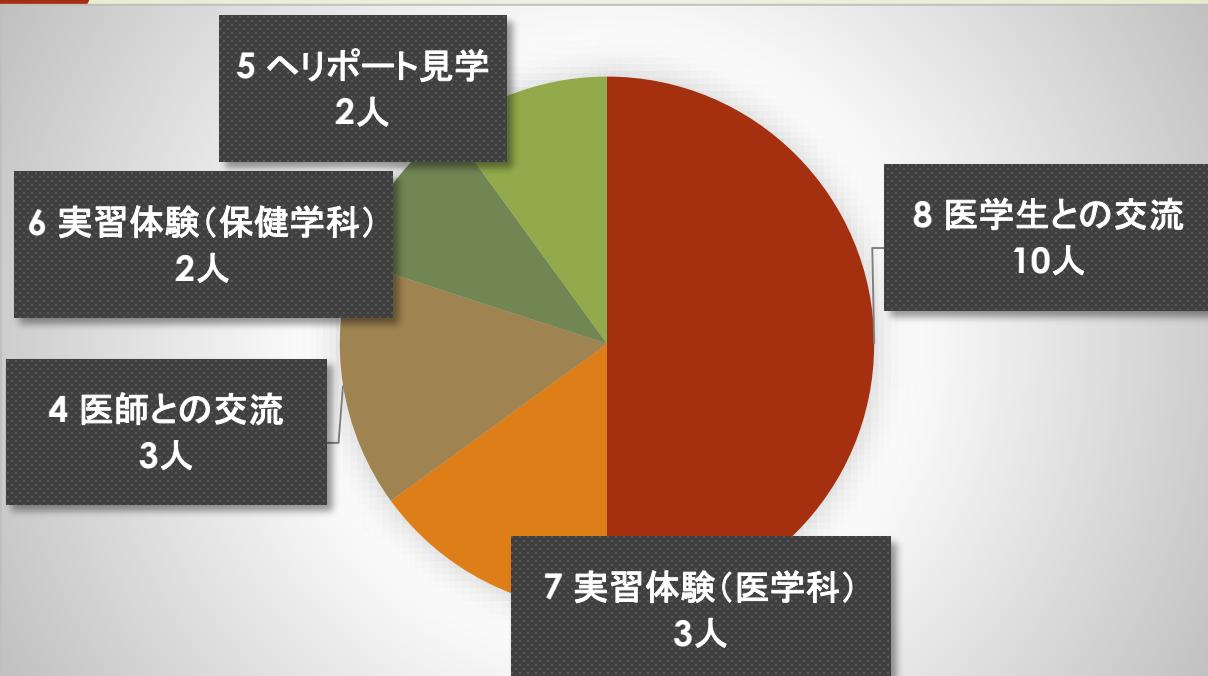
- ちょうど良かったがもう一日あっても良い。
- 部活の大会と重なってしまったが、2回出れて良かった。
- 20日は高校の体験入学と重なっていたので、重ならないようにすれば良かった。
- テストの日にちと重なってしまった。
- 休み期間中で通いやすかった。
- 附属中は夏休み期間が異なるので、一週間早い方が良かった。
- 部活や習い事と重なって行けない時もあった。

【質問④】自分にとって有意義であった、楽しかった、または記憶に残ったものは何でしたか。（複数選択可）



～実施後アンケート～

【質問⑤】 質問④の回答のうち、特に有意義であった、楽しかった、または記憶に残ったものは何でしたか。



＜質問⑤で選んだ理由を教えてください＞

「4 医師との交流」

- これから医師になるためにやっておくべきこと、医師になって良かったことなどを聞けたから。

「5 ヘリポート見学」

- 普段は行けない場所を見て楽しかったから。

「6 実習体験（保健学科）」

- 血液型などを調べて自分でわかったことがたくさんあったから。
- 自分が体験したことのないものを知ることができたから。

「7 実習体験（医学科）」

- 初めて体験することが多く、医学生と仲良く話すことも楽しかったから。
- とても優しく教えてくれて、楽しいプログラムだったから。
- 実際に器具を使ってやることがとても楽しく勉強になったから。

「8 医学生との交流」

- 今の医学生の生活の様子がわかり参考になったから。
- 不安や楽しい事、今自分にできることなど、医学部に入りたいと思う上で参考になったから。
- 気になっていることを聞き、楽しく活動できたから。
- 医学生と話すことによって、夢を持つことの大切さを感じたから。
- 勉強の方法について教えてもらい参考になったから。

～実施後アンケート～

【質問⑥】 今回のプログラムは、あなたにとって将来の夢探しの参考、または、医療職への興味や理解を深める場になりましたか。

Y e s ! → 100%

【質問⑦】 今回のプログラムを通じて、医師や医療職に対して、どのようなことを感じましたか。

- 医師になるためには勉強以外にもやるべきことがあることを感じた。
- 人とのコミュニケーションの大切さや勉強の大切さを改めて感じた。
- とても大変な仕事であるが、信頼される職業なので、なりたい気持ちが強くなった。
- 責任のある大変な仕事だが、その分やりがいも大きいと感じた。
- 今からやりたい事を考える必要があると感じた。
- 勉強は一番大切であり、改めて頑張ろうと思った。
- 自分も人を助ける仕事に就きたいと感じた。
- まだまだ自分には足りないものが多く、今後の努力が必要であると感じた。
- 医療職にとても興味を持った。
- とても大変であるが楽しそうだと感じた。
- 医療関係の仕事を目指したいという気持ちが強くなった。
- 苦労も多いが、やりがいを持つことを知り、より医師を目指したいと感じた。
- 大変なことも多いが、人を助ける仕事なので、やりがいのある仕事だと感じた。
- 医師でも他の職業でも、結局は努力の結晶なのだということを感じた。
- 今回のプログラムのおかげで医者になりたいという気持ちが強くなった。
- 医師になる大変さを感じ、このプログラムへ参加し勉強への意識が高まった。
- こつこつと努力をしないとなれない職業であることがわかった。
- 医師になる大変さや人のために働く姿がすごいと感じた。
- 命を預かる大切な仕事であり、必要な職業だと改めて感じた。
- 医師や医療職は大変であるが、とてもやりがいのあることを感じた。

～実施後アンケート～

【質問⑧】 今回のプログラムの内容について、意見や要望がありましたらお知らせください。

- ・ オープンキャンパスを混んでいない時間に実施して欲しい。
- ・ 全体的に楽しかったので来年も参加したい。
- ・ とても良い内容でためになり、楽しく学ぶことができた。
- ・ 実習体験の時間を増やして欲しい。
- ・ 企画に参加出来て良かった。
- ・ 将来の職について考える参考になった。
- ・ 今後もこのようなプログラムを開催して欲しい。
- ・ オープンキャンパスの時間を増やして欲しい。
- ・ 医療関係の仕事が具体的にどのようなものがあるか知りたい。
- ・ プログラムの定員が少ないので増やして欲しい。
- ・ 一緒に申込んだ友達が参加できなかった。



28.8.8附属病院ヘリポートにて